

活動レポート (2018年8月11日)

皇樹の森 みどりの祭

オリエンテーリング体験会

8月11日に、下呂市にある皇樹の森においてみどりの祭「オリエンテーリング体験会」が開催されましたので、その活動レポートをお届けします。(担当 牧ヶ野)

スタッフ 橋本、牧ヶ野敏明・ゆかり・智央

昨年度作成した「四美の森」のエリアの一部にある「皇樹の森」において今年始めて「みどりの祭」にあわせてオリエンテーリング体験会を開催しました。今年は、下呂市は日本で二番目になる暑さになるような日が続いていて、当日もとても暑い1日となりました。

みどりの祭は、山の日に合わせて下呂市が主催する事業で、魚のつかみ取りや木工体験などが行われ、どちらかというと小さな子ども達がメインのイベントでした。



今回のコース設定は、橋本さんが担当し、初心者の方、小さなお子さんにも回れる7コントロール0.5キロと短い初心者コースと、里山を満喫してもらいつつ、運動もしたい方向けの9コントロール1.2キロ登り120mと長い距離のチャレンジコースを設定しました。



下呂市では、6月7月と豪雨もあり、また、先に書いたように全国的な猛暑のまちなり、元気な小さな子ども達はいるものの参加者は少なく、春に四美で行ったオリエンテーリング基礎講座の受講生である下呂市のスポーツ推進員の方々の参加が

主でした。そのため、初心者コースに3名、チャレンジコースに14名の参加でした。

参加者の中で、特に異才を放ったのは小坂町の奥田君という小学生男子でした。幼稚園児や低学年児が多い中、最初からオリエンテーリングに関心を持ってきて、最初、初心者コースを体験したらはまり、チャレンジコースにも参加したいという希望でしたが、サンダル履きで危険なのとすることを話したら、お母さんと家まで靴を取りに帰り、昼頃からチャレンジコースに参加。チャレンジコースも、山の中のコースで心配だったので、スタッフが同行したものの果敢に道なき斜面を駆け上がる逞しさを見せてくれました。それにと



どまらず、友達も連れてきてチャレンジコースを計3回楽しんでくれました。秋開催の清流レク大会や高山市民大会にも参加してくれることを誓ってくれました。

今回、このイベントにオリエンテーリングを取り上げていただき、実施させていただけましたことを下呂市役所の皆様に感謝申し上げます。ただ今回は、ちょっと暑く、また、対象年齢が低いということもあり、参加者数が少なかったことは残念でしたが、今後も機会が頂けるなら、多くの方に参加していただけるように工夫できたらと思います。(牧ヶ野)